

ご挨拶

一般社団法人地域医療機能推進学会
事務局長 中村 仁

皆さんは会員だけが利用できる特典をご存じですか？

特典とは「会員限定の福利厚生制度」のことで、本学会では会員の皆さまの日常生活に役に立つ様々な制度を展開しています。

具体的には、①口座開設や資産形成を始めるなら（銀行口座開設や積立貯蓄）、②お金が必要になったら（特別金利による住宅ローンや多目的ローン）、③充実したカーライフのために（26%割引の団体自動車保険や新車購入支援、中古車買取り）、④ゆとりある生活を楽しむために（家事代行サービス、クレジットカード入会、ピザや菓子の特別優待、生命保険のプラン紹介）、⑤健康づくりを思い立ったら（スポーツクラブの割引利用）、⑥万一のとき（亡くなったときの弔慰金の支給、相続等の相談窓口）等があります。

いずれも、会員だけの特別な制度ですので、是非ともご利用ください。

毎年、新たな特典を追加しておりますが、皆さんからも「こんな特典があったら良いなあ」等のご意見やご要望がございましたら学会事務局宛にご提案ください。

なお、制度の詳細は学会ホームページ（会員特典（福利厚生制度）のご案内）に掲載しておりますのでご覧ください。

新常務理事就任のお知らせ

2021年10月1日付で大鶴 知之 JCHO 理事が地域医療機能推進学会の業務執行理事に就任いたしましたのでお知らせいたします。

第6回 JCHO 地域医療総合医学会

現在、2022年3月4日（金）・5日（土）の開催にむけ、安全に細心の注意を払い準備を進めております。多数のご参加をお待ちしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

■事前参加登録について

【ご案内】12月下旬

【締切】～2022年1月中旬（予定）

【申込方法】参加希望者はご所属先の総務企画課にお申し出ください。

【会員資格】2022年1月の会員リストにお名前があり、2022年1月20日1月分の会費を納めていただいた方までを会員とみなします。

■COVID-19 ワクチン接種ご協力をお願い

参加者ご本人の感染や重症化予防のためにも、参加を予定されている方はワクチン接種にご協力をお願いいたします。

■最新情報は随時 HP をご確認ください。

<http://www.jchs.or.jp/jcho2021/>

学会の加入状況 (2021年11月現在)

【会員数】18,623名

【加入率】65.96%

【地区別の加入状況】

【地区名】

【加入率（会員数）】

・北海道東北地区（7病院）	54.3%（1,617名）
・関東地区（16病院）	64.5%（4,935名）
・東海北陸地区（9病院）	59.7%（2,471名）
・近畿四国地区（11病院）	55.6%（3,068名）
・九州地区（14病院）	81.8%（6,372名）



会員特典に関するご案内

学会では会員の皆さまの福利厚生制度として、様々な特典をご用意しております。一例をご紹介しますので、ぜひご活用ください。

■家事代行サービス「ニチイライフ」のご紹介

「株式会社ニチイ学館」の運営する家事・育児・自費介護サービスです。全国47都道府県でサービスを実施しており、会員の皆さまは特別優待価格でご利用いただけます。

ニチイライフがあなたやご家族の生活をサポートします。

ご両親のために	お子さまのために	お母様のために	ご自身のために
遠方に住む高齢の高齢が心配。買い物好きな両親に付いていく時間が無い。	塾の行き帰り子どもだけでは心配。子ども一人で留守番は大丈夫かしら。	赤ちゃんのお世話が大変...お掃除や洗濯を手伝って欲しい。	仕事が忙しく家事が疎かになってしまっている。
高齢者・障がい者ケアサービス	お子さま安心サービス	産前産後サービス	お掃除代行サービス
介護保険では対応できない「話し相手」や「外出の付き添い」をお手伝いします。	仕事や用事のために親御さんが留守をすることの多いご家庭で、お子さまを見守りながらの家事や塾への送迎をいたします。	体調が変化する妊娠中や、慣れない育児で生活リズムが変動する産後のお母さんの家事・育児をお手伝いします。	専用洗剤を使ったお掃除だから、日頃のお掃除では行き届かない水まわり、レンジまわりもきれいに仕上げます。

■会員特典の利用者数について

団体自動車保険

2017年6月～2021年10月までの支払実績より

【総契約台数】約2,500台 【契約者数】約1,700名

2021年4月～10月の支払実績より

【契約台数】769台 【契約者数】526名

【契約者数】

- 1位 諫早総合病院
- 2位 天草中央総合病院
- 3位 熊本総合病院
- 4位 松浦中央病院
- 5位 可児とうとう病院、人吉医療センター



発行日 2021年11月22日

発行 一般社団法人地域医療機能推進学会

〒108-0074 東京都港区高輪3-22-12

TEL:03-3445-5125 FAX:03-3445-5110

Email:info@jchs.or.jp / URL:https://www.jchs.or.jp/



第7回 JCHO 地域医療総合医学会

■第1回プログラム委員会の開催

10月20日(水)に第1回プログラム委員会を開催し、2022年10月の熊本開催に向け準備を開始いたしました。今後、島田会長のもと、魅力あるプログラム企画について協議を進めてまいります。

また、第7回のHPも11/16にアップしております。最新情報は随時HPでご案内してまいりますので、ぜひご確認ください。

<出席者>【会長】島田 信也 (JCHO 熊本総合病院 院長)
【プログラム委員】住田 安弘 (JCHO 四日市羽津医療センター 院長) /
大鶴 知之 (JCHO 理事) / 石川 直子 (JCHO 理事) / 楠 進 (JCHO 理事) / 山本 修一 (JCHO 理事) /
内野 直樹 (JCHO 理事長特任補佐) / 木村 晴行 (JCHO 本部 総務部長) / 学会事務局 (敬称略)



■一般演題の演題募集について

- 【ご案内】2022年3月上旬頃(予定)
- 【募集開始】3月中旬～下旬頃(予定)
- 【発表形式】□演発表・ポスター発表
- 【応募資格】演題応募時に筆頭著者(発表者)および共著者含めて「地域医療機能推進学会の会員であること」が条件となります。非会員の方は演題応募時までにご所属先の総務企画課で入会申込手続きを行ってください。

※第6回 JCHO 地域医療総合医学会では、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、密になりやすい「ポスター発表」は行いませんでしたが、第7回では、感染症予防に配慮をし「ポスター発表」行うことといたしました。

過去最大数の発表枠を設けております。
多数の演題のご応募お待ちしております。

第7回 JCHO 地域医療総合医学会
<https://www.jchs.or.jp/jcho2022/>



【第7回 JCHO 地域医療総合医学会の開催にあたって】

第7回 JCHO 地域医療総合医学会
会長 島田 信也
(JCHO 熊本総合病院 院長)

第7回地域医療総合医学会は、2022年10月21日(金)、22日(土)の2日間、熊本城ホール(熊本市)の全館を会場として開催させていただきます。

本学会は、当初の開催場所を東京ならびに近郊、それ以降は順次地方開催との方針でしたが、その記念すべき第1回目として熊本をご指名いただきまして誠に有難うございます。

今、日本の重大な問題は何と申しましても、全世界を恐怖と機能不全に陥れた「新型コロナの終息」ですが、2021年初頭から始まったワクチン接種が11月には全国民の70%以上に拡大・浸透したことがこの新型コロナの収束に多大な貢献をしていると考えられ、今後の「新型コロナの終息」に向けて、大いに光明が見えているところです。しかしながら、今後はこの度の貴重な経験を基に、変異・新規ウイルスへの対処も念頭に置いた医療対策を立てていかなければなりません。

そして同時に、新型コロナ禍以前の重大課題であった「人口減・少子化・高齢化の対策」として、特に JCHO 職員は少しでも「国や地域に貢献しようとする意欲と覚悟」を持ち、いま流行りの SDGs も念頭に置いて、医療とともに「若い人たちが夢とプライドを持って安心して住み続けられる地域づくり・長寿命のまちづくり」に少しずつでも貢献する義務があると考えます。

その意味を込めまして、今回のメインテーマは「ウィズウイルス時代の『新しい医療と地域づくり』」といたしました。勿論、JCHO 職員の皆様が誰でも演題登録できるプログラムも万遍なく準備いたしておりますので、奮ってご応募頂きますようお願いいたします。

熊本の地には、日本でも屈指の自然と文化、即ち、ポスターにもデザイン化しましたが名勝の阿蘇・天草・熊本城があります。また、熊本が誇る山海の美味しい食文化もあり、くまモンも待っています。さらに、皆様が歓喜されること間違い無しの正に超大物の熊本出身の特別ゲストも予定しています。

コロナ終息後を大いに楽しんでそしてゆったりと気持ちよく勉強できる「本当に参加してよかった JCHO 学会 in 熊本」を目指しておりますので、全国 JCHO 職員の皆様が大学して熊本の地にお越し頂きますよう、心待ちにいたしております。